

(重要な後発事象)

当連結会計年度（自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）

米国Tenaska Frontier発電所の持分取得に伴う出資及び債務保証

当社は、平成18年4月4日に、北米事業の持株会社であるJ-POWER North America Holdings Co., Ltd.（当社100%出資）を通じて、米国テキサス州ヒューストン近郊におけるガスコンバインドサイクル発電所の権益62%を取得する契約を、テナスカ社（Tenaska Energy, Inc.）及びCES社（CES Acquisitions Corp.）と締結致しました。

同発電所権益を取得するため、J-POWER North America Holdings Co., Ltd. を通じてJ-POWER Frontier, L.P. とJ-POWER Frontier GP, LLC（共に平成18年4月設立、当社持分100%）を買収会社として設立すると共に、平成18年4月28日にJ-POWER North America Holdings Co., Ltd. に対して78.5百万ドル（約90億円）の増資を行っております。

また、併せてノンリコースローンを組成する予定としており、組成までのつなぎ融資として、J-POWER North America Holdings Co., Ltd. を通じて設立したJ-POWER Frontier Capital, L.P.（平成18年4月設立、当社持分100%）が、平成18年5月1日に195百万ドル（約220億円）を極度額とするブリッジローン契約を締結致しました。これに伴い、同契約に基づきJ-POWER Frontier Capital, L.P. が負担する一切の債務につき、当社が債務保証を行うこととしております。

発電所主要諸元は、ガスコンバインドサイクル発電所830MW（ガスタービン3基、蒸気タービン1基）で、発生電力は全量を2020年9月までエクセロン社（Exelon Generation Company, LLC）へ売電する契約を締結しております。

前連結会計年度（自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日）

フィリピン共和国CBK水カプロジェクトへの出資

当社が、オランダ国での海外投資法人J-Power Investment Netherlands B.V.（当社が100%出資）を通じて出資した関連会社であるCBK Netherlands Holdings B.V.（当社持分50%）はフィリピン共和国ラグナ州における水力発電所及び揚水発電所の権益50%を平成17年1月に取得しました。これにより当社の権益の持分は25%となりました。更に今般、CBK Netherlands Holdings B.V. が残り50%の権益を取得するための所要資金の一部である42百万ドル（約45億円）を当社がJ-Power Investment Netherlands B.V. を通じて平成17年4月22日CBK Netherlands Holdings B.V. に対して出資し、同日権益を取得したことにより当社の権益の持分は合計で50%となりました。

発電所主要諸元は、水力発電所2ヵ所5基43.4MWと揚水発電所1ヵ所4基686.6MWの計9基728MWで発生電力は全量を2025年までNational Power Corporationへ売電する契約を締結しております。